

# 1991年4月1日～2017年12月31日の間に 当科において四肢／体幹部脱分化脂肪肉腫の治療を受けられた方 およびそのご家族の方へ

—「本邦における四肢／体幹部脱分化脂肪肉腫の治療成績に関する多施設共同研究」へご協力  
のお願い—

研究責任者 岡山大学病院 整形外科 教授 尾崎 敏文  
研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 運動器医療材料開発講座  
准教授 國定 俊之  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 運動器外傷学講座  
講師 中田 英二  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 運動器スポーツ医学講座  
助教 長谷井 嬢  
岡山大学病院 整形外科 医員 近藤 宏也

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

脂肪肉腫とは手足や後腹膜腔（おなかの臓器のわきにあるスペース）などに発生する悪性腫瘍（肉腫）のうち、顕微鏡で見ると脂肪を含む細胞をもつものを指し、細胞の形や治療成績によって異型脂肪腫様腫瘍／高分化脂肪肉腫、脱分化脂肪肉腫、粘液脂肪肉腫および多型脂肪肉腫の4つに分類されます。そのうち脱分化脂肪肉腫は、（1）脂肪肉腫のなかでは発生する確率が比較的低い、（2）治療成績は良くない、（3）全症例の8割が後腹膜腔に発生することなどがわかっていますが、いまだ定説はありません。これまでの研究は主にこの病気をもっとも多く発生する部位である後腹膜発生例に関してなされており、おもに整形外科が治療を担当する四肢など末梢や胸壁／腹壁に発生した症例に関しては約30例をまとめた報告があるにすぎません。

特定非営利活動法人骨軟部肉腫治療研究会（Japanese Musculoskeletal Oncology Group、JMOG）は国内最大の骨軟部腫瘍に関する多施設共同研究組織であり、2018年現在約80の骨軟部腫瘍専門施設が参加し、約50の多施設共同研究を行っています。今回本疾患の治療成績を向上させることを目的とし、アンケート調査を行います。

この研究ではこれまでに行われた検査や治療内容のデータを使いますので、患者さんの負担はありません。今後の治療方針にも影響しません。費用の負担もありません。この研究は、杏林大学医学部倫理審査委員会の審査を受け、医学部長の承認を得て行っているものです。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

この研究では脱分化脂肪肉腫を目的とした手術を受けられた患者さんの各種画像検査や診療記録のデータを元に適切な手術方法・時期やその後の局所再発の頻度や生命予後を明らかにすることが期待できると考えています。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

1991年4月1日から2017年12月31日までに当院整形外科で治療を受けられた脱分化型脂肪肉腫の患者さんです。この期間に治療を受けられた患者さんのなかで、この研究に参加したくない方がいらっしゃいまし

たら、そのことをお申し出ください。その場合、データは使いません。またこれからの治療に差し支えることは全くありません。ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方については、お調べしお答えいたします。

## 2) 研究期間

倫理委員会の承認日から2022年3月31日まで。

## 3) 研究方法

対象となる患者さんの診療のときに検査した各種画像検査、診療記録のデータを収集するとともに全国からのデータと統合します。患者さんのお名前などの個人情報を削除し、データをまとめ、再発や転移の有無などの治療成績に影響を与える可能性のある状態の分析を行います。

## 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 1)患者情報

年齢、性別、初発症状発現年月、初診年月

### 2)臨床情報

疼痛の有無、腫瘍の部位、腫瘍のサイズ、石灰化の有無、転移巣の有無  
病理組織学的所見；脱分化部の所見、悪性度

### 3)原発部位に対する治療歴

手術；手術年月、切除縁評価

化学療法；有無、内容

### 4)腫瘍学的転帰

治療結果；最終経過観察年月、生存、転移、再発

## 5) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する試料・情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

杏林大学医学部整形外科 臨床教授 森井 健司

東京歯科大学市川病院整形外科 教授 穴澤 卯圭

国立病院機構 東京医療センター 整形外科 医長 森岡 秀夫

東大大学院健康科学・看護学専攻 生物統計学分野 助教 篠崎 智大

## 6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後3年間、岡山大学病院整形外科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

## 7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究では、登録の際には患者さんの個人情報を全て抹消し、データの調査のときに個人情報が漏れないように、配慮いたします。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、個人情報などが公表されることは一切ありません。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2019年10月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 整形外科

氏名：近藤 宏也

電話：086-235-7273（平日：9時00分～17時00分）

#### <研究組織>

東京歯科大学市川病院整形外科 教授 穴澤 卯圭

国立病院機構 東京医療センター 整形外科 医長 森岡 秀夫

#### 多施設共同研究・研究組織

JMOG（骨軟部肉腫治療研究会；代表 上田孝文）

〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂 2-1-14

国立病院機構大阪医療センター整形外科

参加施設情報：<http://www.jmog.jp/index.html>